

貴金属ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/01/08号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

過度な金利下げ期待の修正入る

SPDR Gold Shares円建価格



ゴールドとドルインデックス



あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

新年のマーケットは昨年後半に膨らんでいったFRBの金利下げに対するマーケットの期待に対して、より冷静な見方からのゴールドの利食い売り、ドルの買い戻し、米国債の売り戻し（長期金利上げ）という形で始まりました。FRB理事たちの「タカ派」よりの発言、そして好調な経済指標により、政策金利が市場の予想よりも長期間変わらないという可能性から、ゴールドにはより多くの利食い売りが見られています。市場予想では金利は3月に下がり始め、今年末には3.9%とというのが現在のFF金利先物に反映されていますが、インフレが高止まりしており、米経済は好調であることが、金曜日の雇用統計のNFPが市場予想の17万人を大きく上回る21.6万人増となったことでも確認され、FRBが金利下げを急ぐ理由はなくなり、ゴールドは先週の安値2024ドル台まで下落しました。しかし注目すべきはその後すぐに戻したことです。長期金利は4%を越えて上昇したにもかかわらず、ゴールドは堅調であり、それが現在のゴールドのマーケットを象徴していると言えるでしょう。ただし、この状況で大きく上昇していくことはこの年初のマーケットでは難しくなったと考えるのが妥当でしょう。ただ下値は、やはり一昨年、昨年に続いて中央銀行の買いによりしっかりしており、一年というスパンで考えれば、ずれ込んだとしても金利下げはやはりほぼ確定でありそれを受けてゴールドが上昇する可能性は高いと思います。ゴールドの本格的な上昇はおそらくは年後半になるのではないかと思います。前半は1900-2100ドルレンジ、後半は歴史的な高値の塗り替えが期待できる2000-2300ドルというレンジで、下落よりも上昇の可能性が高いと予想します。円建てゴールドも年初から円安の動きが再開しており、こちらもグラム1万円越えの歴史的な高値更新が今年もあると考えます。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【マーケット・トピック】

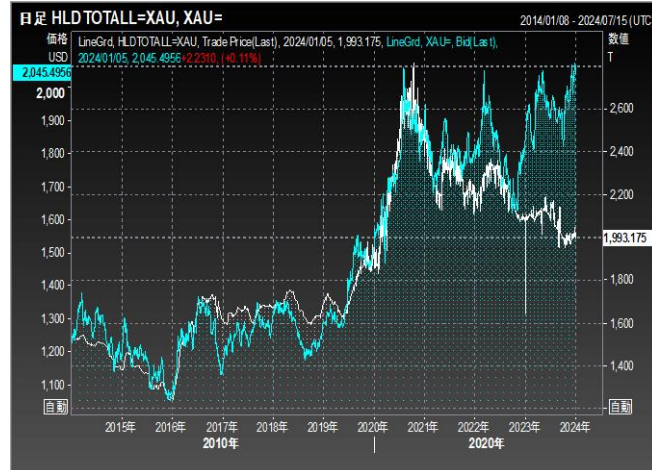
「シルバーの現状」

金銀比価が88と大きく上げ、下落の勢いがよりゴールドより増幅される傾向があり、金曜日の雇用統計の後には23ドルを割り込むなどボラティリティの大きさが目立ちます。中国の経済は依然として不動産からの不調が続いており、それがシルバーの先行きに大きな影を落としています。基本的にゴールドと同じ動きになりますが、特に下落時にその動きがより大きくなってしまふという状況が続きそうです。



「プラチナの現状」

年末にひさしぶりに1000ドルを超えたプラチナでしたが、残念ながらやはり1000ドル以上を維持することはできませんでした。このレンジ取引は今年もまた続きそうです。900ドル割れで買い、1000ドルへ近づく場面で利食い売りという取引戦略は今年も有効でしょう。シルバー同様、最大の需要国である中国の経済が不調であるのが最大の弱気要因になっています。



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクリーマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで